

経営成績及び財政状態

1. 経営成績

当第3四半期（平成15年4月から平成15年12月までの9ヵ月）のわが国経済は、個人消費や住宅投資は引き続き低調に推移しましたが、民間設備投資や輸出が持ち直し、緩やかながらも回復基調に向かいました。一方、海外におきましては、着実な景気回復を続ける米国に牽引され、総じて堅調な経済環境にありました。

医療面におきましては、国内では被用者保険本人の負担増や国公立病院の独立行政法人化等、医療機関を取り巻く環境は厳しさを増しています。海外では新型肺炎「重症急性呼吸器症候群」（SARS）の流行により、中国において医療体制の整備を重視し、農村部を含む医療システムを早期に構築する動きが進展しています。

このような状況の中で、当社グループは国内では病院や検査センターでのISO認証取得支援のコンサルティング活動の開始など、検体検査機器・検体検査試薬・IT・サービス&サポートを組み合わせたトータルソリューション提供の充実を図りました。一方海外では、特に米国での事業体制の再構築に取り組み、収益拡大を積極的に進めました。

この結果、当第3四半期の売上高は47,750百万円、営業利益は3,998百万円、経常利益は3,341百万円、当期純利益は1,704百万円となりました。

2. 財政状態

当第3四半期末の資産合計は、前期末と比べて3,145百万円増加し、69,595百万円となりました。この主な要因は、売上規模の拡大により受取手形及び売掛金が1,509百万円、米国での直販体制への移行等により棚卸資産が2,677百万円それぞれ増加したことによります。一方、負債合計は借入返済が順調に進み長短借入金が2,605百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が1,804百万円、未払法人税等が1,148百万円増加したこと等により1,873百万円増加しました。

株主資本は前期末と比べて1,298百万円増加しましたが、株主資本比率は1.1ポイント低下して64.1%となりました。

当第3四半期のキャッシュ・フローの状況につきましては、棚卸資産が2,816百万円増加しましたが、税金等調整前当期純利益3,206百万円と減価償却費2,370百万円に加えて、売上債権と仕入債務の増加による資金293百万円を合わせて、営業活動の結果得られた資金は6,166百万円となりました。投資活動による支出2,638百万円並びに財務活動において長短借入金の返済2,728百万円、配当金の支払い598百万円を行ったことにより、現金及び現金同等物は前期末に比べて微増の10,431百万円となりました。

3. 当期の連結業績の見通し

第3四半期までの計画の進捗状況と第4四半期の予想を併せて検討した結果、平成15年11月11日（中間決算発表時）に発表した連結業績予想について、売上高を65,500百万円（2,000百万円増）へ、営業利益を6,000百万円（500百万円増）へ修正いたします。経常利益、当期純利益については、為替差損発生の可能性を考慮し予想を修正いたしません。

なお、個別業績予想については、売上高を46,600百万円（1,100百万円増）へ、営業利益を3,600百万円（400百万円増）へ修正いたします。経常利益、当期純利益に関しては連結業績と同様の理由により予想を修正いたしません。

また、算定にあたりましては、第4四半期（平成16年1月～平成16年3月）の平均為替レートを対米ドル106円、対ユーロ135円、通期の平均為替レートを対米ドル116円、対ユーロ131円で想定しています。

(1)16年3月期連結業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成15年11月11日発表)	63,500	5,500	5,350	2,250
今回修正予想(B)	65,500	6,000	5,350	2,250
増減額(B-A)	2,000	500	-	-
増減率	3.1	9.1	-	-
前期(平成15年3月期)実績	57,252	5,298	5,321	3,124

(2)16年3月期個別業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成15年11月11日発表)	45,500	3,200	4,100	2,400
今回修正予想(B)	46,600	3,600	4,100	2,400
増減額(B-A)	1,100	400	-	-
増減率	2.4	12.5	-	-
前期(平成15年3月期)実績	43,419	3,504	4,234	2,727

4. 参考情報

当社グループでは、大部分の海外関係会社の決算期は12月となっており、当社を含めた国内の関係会社とは3ヵ月のずれが生じます。そのため、当社の第3四半期が終了した時点で、海外関係会社は年間を終了することになります。

海外所在地別の年間売上高につきましては、それぞれ米州9,125百万円(前年同期比43.7%増)、欧州17,562百万円(前年同期比20.9%増)、アジア・パシフィック2,352百万円(前年同期比25.1%増)、中国3,859百万円(前年同期比23.4%増)となる見通しです。なお、為替の影響を除外し前年同期レートで比較した場合は、概ね米州55.4%増、欧州10.6%増、アジア・パシフィック28.7%増、中国33.5%増となります。

要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成15年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成15年3月31日現在)		増 減 金 額
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
(資産の部)		%		%	
流動資産	46,082	66.2	42,865	64.5	3,217
現金及び預金	10,531		10,275		255
受取手形及び売掛金	18,891		17,381		1,509
有価証券	84		133		49
棚卸資産	14,039		11,361		2,677
その他	2,535		3,712		1,177
固定資産	23,512	33.8	23,584	35.5	71
有形固定資産	17,477	25.1	17,642	26.5	164
無形固定資産	1,990	2.9	2,241	3.4	251
投資等	4,044	5.8	3,700	5.6	344
資産合計	69,595	100.0	66,449	100.0	3,145
(負債の部)					
流動負債	22,633	32.6	18,803	28.3	3,829
支払手形及び買掛金	7,103		5,299		1,804
短期借入金	2,652		3,354		701
一年以内償還予定転換社債	4,997		4,999		2
その他	7,880		5,151		2,728
固定負債	2,311	3.3	4,267	6.4	1,956
長期借入金	97		2,001		1,904
退職給付引当金	639		595		43
その他	1,574		1,669		95
負債合計	24,944	35.9	23,071	34.7	1,873
(少数株主持分)					
少数株主持分	27	0.0	53	0.1	26
(資本の部)					
資本金	5,510	7.9	5,509	8.3	0
資本剰余金	8,737	12.5	8,736	13.2	0
利益剰余金	29,791	42.8	28,784	43.3	1,006
その他有価証券評価差額金	320	0.5	91	0.1	229
為替換算調整勘定	334	0.5	268	0.4	66
自己株式	71	0.1	64	0.1	6
資本合計	44,623	64.1	43,325	65.2	1,298
負債・少数株主持分・資本合計	69,595	100.0	66,449	100.0	3,145

(注) 前年同四半期の連結貸借対照表は作成しておりません。

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前連結会計年度	
	当第3四半期 (自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日)		(自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
売 上 高	47,750	100.0	57,252	100.0
売 上 原 価	20,461	42.8	23,867	41.7
販売費及び一般管理費	23,290	48.8	28,087	49.0
営業利益	3,998	8.4	5,298	9.3
営業外収益	271	0.6	565	1.0
(受取利息・配当金)	(76)		(147)	
(その他)	(195)		(417)	
営業外費用	929	2.0	542	1.0
(支払利息)	(66)		(151)	
(為替差損)	(751)		(56)	
(その他)	(111)		(334)	
経常利益	3,341	7.0	5,321	9.3
特別利益	22	0.0	49	0.1
特別損失	156	0.3	1,023	1.8
税金等調整前当期純利益	3,206	6.7	4,348	7.6
法人税等	1,522	3.1	1,238	2.1
少数株主損益	20	0.0	15	0.0
当期純利益	1,704	3.6	3,124	5.5

(注) 前年同四半期の連結損益計算書は作成しておりません。

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前連結会計年度	
	当第3四半期 (自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日)		(自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益	3,206		4,348	
減価償却費	2,370		3,107	
売上債権の増減額	1,670		837	
棚卸資産の増減額	2,816		292	
仕入債務の増減額	1,963		1,435	
その他	3,708		264	
小計	6,763		7,414	
利息及び配当金の受取額	64		230	
利息の支払額	73		193	
法人税等の支払額	587		1,848	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,166		5,604	
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	1,716		1,599	
無形固定資産の取得による支出	521		844	
その他資産増減額	400		183	
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,638		2,259	
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金純増減額	371		222	
長期借入金の返済による支出	2,357		2,009	
配当金の支払額	598		483	
その他	146		681	
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,180		2,034	
現金及び現金同等物に係る換算差額	169		238	
現金及び現金同等物の増減額	178		1,071	
現金及び現金同等物の期首残高	10,253		9,181	
現金及び現金同等物の期末残高	10,431		10,253	

(注) 前年同四半期の連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

セグメント情報

1. 所在地別セグメント情報

当第3四半期（自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジ ^ア ・ パシフィック	中国	計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
外部顧客に対する売上高	23,581	5,997	13,933	1,705	2,532	47,750	-	47,750
セグメント間の内部売上高	11,020	1	127	27	11	11,187	(11,187)	-
計	34,602	5,998	14,060	1,733	2,543	58,938	(11,187)	47,750
営業費用	31,567	6,593	12,788	1,578	2,284	54,813	(11,061)	43,751
営業利益（又は営業損失）	3,034	595	1,272	154	259	4,124	(126)	3,998

（注）当期より従来アジア・パシフィックに含めていた中国を独立した地域として区分することに変更いたしました。この変更は、中国市場の成長に伴い当社グループの経営戦略上の重要性が増したことによるものであります。なお、当期と同様の区分によった場合、前連結会計年度のアジア・パシフィックは以下のとおりとなります。

	アジア・パシフィック	中国	（百万円）
外部顧客に対する売上高	1,880	3,127	
セグメント間の内部売上高	49	36	
計	1,929	3,164	
営業費用	1,767	3,175	
営業利益（又は営業損失）	162	11	

前第3四半期（自平成14年4月1日 至平成14年12月31日）

前第3四半期は作成しておりません。

前連結会計年度（自平成14年4月1日 至平成15年3月31日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジ ^ア ・ パシフィック	計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
外部顧客に対する売上高	31,370	6,349	14,524	5,007	57,252	-	57,252
セグメント間の内部売上高	13,574	7	105	86	13,773	(13,773)	-
計	44,945	6,356	14,629	5,093	71,026	(13,773)	57,252
営業費用	41,291	6,592	13,545	4,942	66,372	(14,418)	51,954
営業利益（又は営業損失）	3,653	235	1,084	150	4,653	(645)	5,298

2. 海外売上高

当第3四半期（自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）

（単位：百万円）

	米州	欧州	アジア・パシフィック	中国	計
海外売上高	6,023	13,962	2,424	2,732	25,142
連結売上高	-	-	-	-	47,750
連結売上高に占める 海外売上高の割合	12.6%	29.2%	5.1%	5.7%	52.6%

（注）当期より従来アジア・パシフィックに含めていた中国を独立した地域として区分することに変更いたしました。この変更は、中国市場の成長に伴い当社グループの経営戦略上の重要性が増したことによるものであります。なお、当期と同様の区分によった場合、前連結会計年度のアジア・パシフィックは以下のとおりとなります。

	アジア・パシフィック	中国
海外売上高（百万円）	2,732	3,142
連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	4.8	5.5

前第3四半期（自平成14年4月1日 至平成14年12月31日）

前第3四半期は作成しておりません。

前連結会計年度（自平成14年4月1日 至平成15年3月31日）

（単位：百万円）

	米州	欧州	アジア・パシフィック	計
海外売上高	6,376	14,548	5,875	26,800
連結売上高	-	-	-	57,252
連結売上高に占める 海外売上高の割合	11.1%	25.4%	10.3%	46.8%